



2015年 教育・生物資源科学部 第2問

数理
石井K2 a を実数とし、関数 $f(x) = 4^x + a \cdot 2^{x-1} + a$ を考える。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 関数 $f(x)$ の最小値が -2 となるとき、 a の値を求めよ。
 (2) 方程式 $f(x) = 0$ が実数解をもつとき、 a の値の範囲を求めよ。

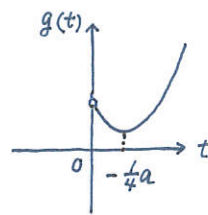
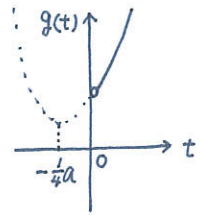
(1) $t = 2^x (> 0)$ とおいて $f(x)$ を t で表したものを $g(t)$ とすると、

$$\begin{aligned} g(t) &= t^2 + \frac{1}{2}at + a \\ &= \left(t + \frac{1}{4}a\right)^2 - \frac{1}{16}a^2 + a \end{aligned}$$

$a = 0$ は条件をみたさないのので右の2つの場合に分けられる。 $a > 0$ は最小値をもたず不適

$$\therefore a < 0 \text{ かつ } -\frac{1}{16}a^2 + a = -2$$

$$\therefore a^2 - 16a - 32 = 0 \quad \therefore a = 8 \pm 4\sqrt{6} \quad a < 0 \text{ より、} \underline{a = 8 - 4\sqrt{6}} //$$

(i) $a < 0$ のとき(ii) $a > 0$ のとき(2) (1) の $g(t)$ を考える。 $f(x) = 0$ が実数解をもつ $\iff g(t) = 0$ が正の実数解をもつ(1) の2つの場合を考える。($a = 0$ は、(2) でも条件をみたさない)(i) $a < 0$ のとき。 $g(t) = 0$ の判別式を D とおくと、 $D \geq 0$ となればよい

$$\therefore D = \left(\frac{1}{2}a\right)^2 - 4a \geq 0 \quad \therefore a(a-16) \geq 0 \quad \therefore a < 0 \text{ より、} a-16 < 0 \quad \therefore a < 16$$

これと場合分けの条件より、 $a < 0$ (ii) $a > 0$ のとき。 $g(0) < 0$ となればよい $\therefore g(0) = a < 0$ これは $a > 0$ に反して矛盾。(i), (ii) より、 $a < 0$ //